

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となります。皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

空挺作戦



統合防空ミサイル防衛訓練



水陸両用作戦



統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備



- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

【陸上作戦（協同基地等警備訓練）】

陸上自衛隊の部隊が各自衛隊基地、訓練場等に展開し、航空自衛隊との協同基地等警備訓練を実施します。生地には無線通信中継のみのために展開し、基地の内外を問わず実弾を使用した訓練はありません。

○期間：令和7年10月20日（月）～10月31日（金）

※夜間訓練、空包使用及びドローン訓練を含みます。

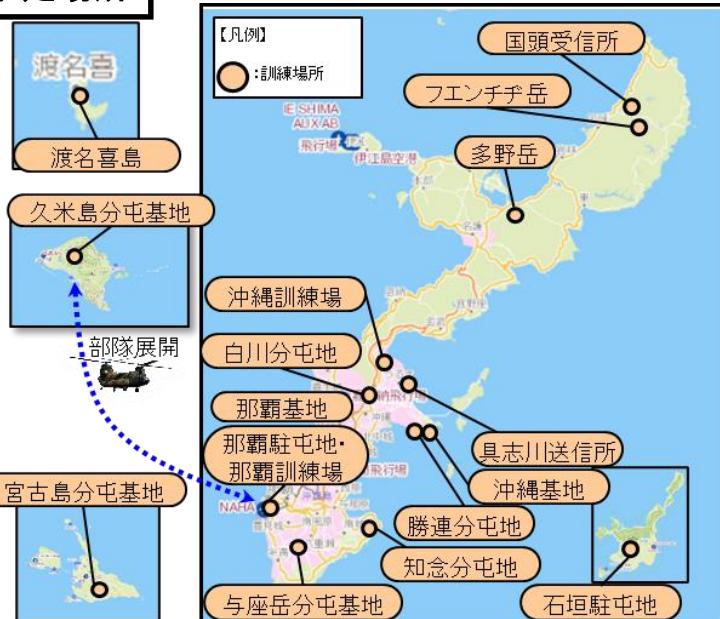
○参加部隊：陸上自衛隊：陸上総隊（中特防、対特衛） 約120名

西部方面隊（第15旅団、CH×1、UH×1、第2特科団等） 約800名

北部方面隊（第5旅団） 約60名

航空自衛隊：南西航空方面隊（第9航空団、南西航空警戒管制団、南西高射群） 約80名

訓練予定場所



訓練イメージ



各基地、分屯基地、駐屯地毎、陸上自衛隊と航空自衛隊との協同による基地警備訓練を行います。

